

試合場について

- 6メートル四方のリング。ロープ際で、試合場から転落しそうな場合は審判の判断により試合を中断し、安全な位置から両者同じ態勢のまま試合を再開する。

団体戦の進行(勝ち抜きシステム)について

- 勝者は相手チームの次の競技者と闘う
- 引き分けは両者退場
- 大将が負けたチームが負け
- 大将同士が引き分けの場合のみ、大将戦のみを対象にジャッジ3名の判定によって勝敗を決し、その勝敗によって勝利チームを決定する

メンバーと総体重

- チームメンバーは5人以下とし、それぞれの総体重は下記と通りとする。(当日計量)
5人でのチーム構成の場合、360.0キログラム以下
4人でのチーム構成の場合、288.0キログラム以下
3人でのチーム構成の場合、215.0キログラム以下
2人でのチーム構成の場合、140.0キログラム以下
1人でのチーム構成の場合、74.0キログラム以下

勝敗の決着

- サブミッション
- 失神
- 失格(レフェリーによる口頭注意3回)
- レフェリーストップ
- 試合時間内に上記の決着が付かない場合は引き分け
- 判定
※おもに1.積極性 2.支配 3.有効関節、絞め 4.ポジショニング 5.ウェイトなどを減点方式で採点

試合時間

- 6分一本勝負

禁止行為(重大な反則=失格負け)

- ヒールフック
- スラム及びスパイク(頭部に直接ダメージを与えるような攻撃)
- 後頭部及び首に大きな負担がかかる投げ技(バックドロップ、裏投げ系統の投げ技)
- 噛み付き、歯を押しつける
- 頭髪、体毛、鼻、耳を掴む
- 性器または目への攻撃または圧迫
- 意図的なあらゆる種類の外傷的打撃(パンチ、肘、膝、頭突き、キックなど)

違反行為(軽微な反則=口頭注意)

- かに挟みによるテイクダウン(スタンド)
- ジャンピングクローズドガード
- 膠着を誘発するクローズドガード
- ポジションをキープするだけで攻撃の意図が見られない場合
- スタンドでテイクダウンを狙わずディフェンシブに動き回る行為
- 故意に対戦相手を試合場から転落させようとする行為
- 故意に試合場から逃避する行為
- 一度に2本以下の指を掴む
- 対戦相手の口や鼻を掌で塞ぐ行為
- 対戦相手を掴んでいない状態で座る行為
- 主審が消極的と判断した場合
- 審判の指示に従わなかった場合
- 「口頭注意」を受けた選手は試合場中央で、対戦相手が選択した下記のいずれかのポジションに従い、審判の合図により試合を再開する
「マウントポジション」、「サイドポジション」、「サイドバックポジション」、「ニーオンベリー」
両者「指導」の場合は試合場中央でスタンドの状態から試合を再開する
- 「口頭注意」3回で「失格負け」
- 違反行為により、相手に相当のダメージを与えたと審判が判断した場合は、1回で「失格負け」になる場合がある

禁止事項

- シューズの着用
- ファウルカップの着用
- クリーム、オイル、ジェル、または滑りやすい物質を身体に塗る
- 頭髮に整髪料やポマードなどを塗布する
- 指輪やネックレス、ピアスなどの貴金属類の着用

1 day トーナメントの場合

- 1回戦を勝ち上がったチームは、決勝戦では1回戦で戦わなかった選手から優先的にオーダーを組まなくてはならない。